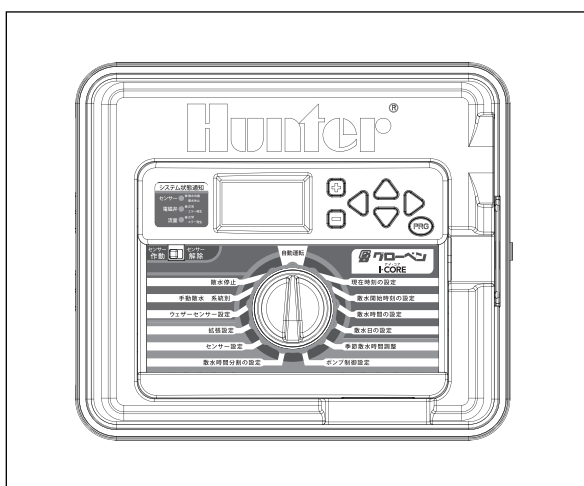




C10SR248／C10SR248H

I-CORE (アイコア) シリーズ

この度はI-CORE (アイコア) をご購入頂きありがとうございます。
 ご使用の前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
 また、本書は大切に保管しておいて下さい。
 万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。



日常ご使用して頂くお客様へ

機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。
 万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、
 設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いが、
 散水箇所の植栽等に大きな変化は無いが必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ

- 本製品はAC100V、AC200Vに対応しています。
- 9Vアルカリ電池(別途)があれば、電源が無くても設定可能です。
- この説明書と製品保証書は、工事完了後は必ず管理者様、施主様
 (日常操作可能な方)にお渡し下さい。
 お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

— 庭にもっと快適を —

株式会社

本社

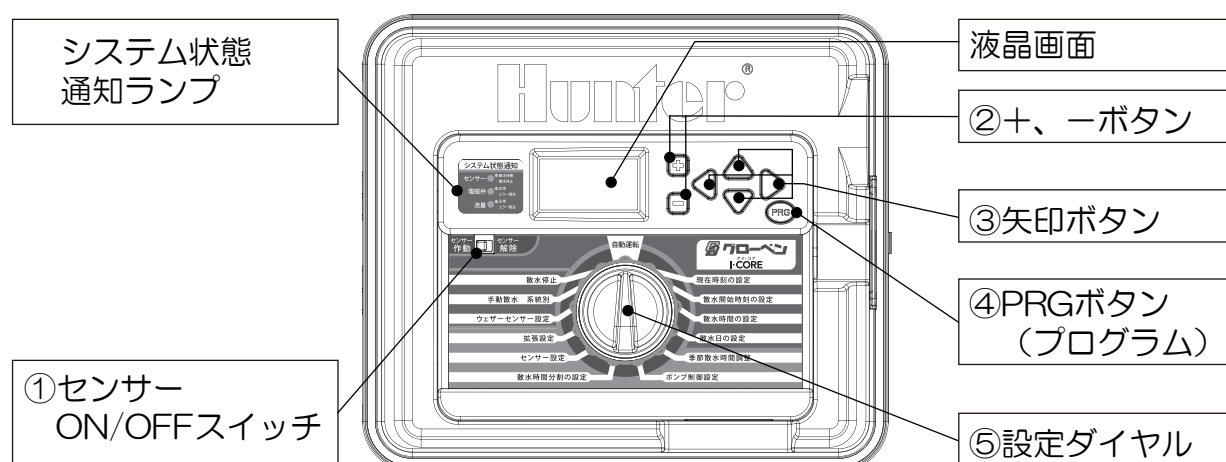
〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31

TEL:052-829-0800 FAX:052-829-0801

Email info@globen.co.jp

コントローラー設置日: 年 月 日

A：操作パネル前面



①センサーON/OFFスイッチ ④PRG（プログラム）ボタン

センサーを接続している場合に使用します。
「作動」はセンサーと連動します。
「解除」はセンサーとは連動しません。

『系統別プログラム』を設定する場合に使用します。
系統別プログラムはA～Dまでがあり、
ボタンを押す度に切り替わります。
設定時、液晶の左上に大きく表示されます。

②+、-ボタン

主に数字の増減に使用します。
点滅している数値の変更が可能です。

③矢印ボタン

設定時の項目移動に使用します。

B 液晶画面

コントローラーの状態を表示します。

⑤設定ダイヤル

通常は「自動運転」に合わせておきます。コントローラーの設定をする時に回します。

基本設定

- ・自動運転／通常のダイヤル位置です。
- ・現在時刻の設定／現在時刻を調整します。
- ・散水開始時刻の設定／散水を始める時刻を設定します。（8回（A～C）、16回（D）まで）
- ・散水時間の設定／散水をする時間を設定します。（最大12時間まで）
- ・散水日の設定／散水する曜日を設定します。（曜日指定可能）

拡張機能

- ・季節散水時間調整／入力済みの散水時間を一括で増減する操作が出来ます。
- ・ポンプ制御設定／ポンプを接続して連動させる設定です。
- ・散水時間分割の設定／散水時間の分割と間隔を設定出来ます。
- ・センサー設定／センサー設定を行う事が出来ます。
- ・拡張設定／言語やフローセンサー、液晶明度、リセットなどを行う事が出来ます。
- ・ウェザーセンサー設定／ソーラーシンクウェザーセンサー以外では使用しません。（別紙取説参照）
- ・手動散水 系統別／系統毎に手動で散水することが出来ます。
- ・散水停止／設定を残したまま自動散水を休止出来ます。散水の中断も出来ます。

・ 現在時刻の設定

I-CORE の時刻を現時刻の設定にします。

- 1 : ダイヤルを《現在時刻の設定》に合わせます。
- 2 : 『年』が点滅表示します、+/- ボタンで年度を合わせて
▶ ボタンを押すと次に進みます。
- 3 : 『月』が点滅表示します、+/- ボタンで月度を合わせて
▶ ボタンを押すと次に進みます。
- 4 : 『日』が点滅表示します、+/- ボタンで日を合わせて
▶ ボタンを押すと次に進みます。
- 5 : +/- ボタンで AM, PM, 24HR を選んで
▶ ボタンを押すと次に進みます。
- 6 : 『時』を +/- ボタンで合わせて、▶ ボタンを押し、
『分』を正しく合わせます。確認修正は ◀▶ ボタンで
を使い戻して +/- で行います。入力後にダイヤルを
《自動運転》に戻して完了です。



・ 散水開始時刻の設定

開始時刻 (StartTime) を設定します。
プログラム (A,B,C,D) が入力可能で、
1 日に 8 回までの開始時刻を設定出来ます。
散水時間は別に入力する必要があります。



注意
散水時刻が重なった場合には 2 系統まで同時に
散水を行う事が出来ます。ただし、水圧、水量を
考慮した上で行わないと機器が正しく作動しない
場合があります。

- 1 : ダイヤルを《散水開始時刻の設定》に合わせます。
- 2 : (初期設定の場合) 『A プログラム』と 1 回目の開始時刻
が点滅表示します、必要に応じ、PRG ボタンを押し
B,C もしくは D に合わせて下さい。
- 3 : 開始時刻が点滅表示します、+/- ボタンで開始時刻を
合わせて下さい。15 分おきの設定が可能です。
1 日に複数の開始時刻を設定する場合には、▶ ボタン
を押して、2 回目以降を設定します。PRG ボタンを
押すと別プログラムの設定が可能です。A,B,C には
それぞれ 8 回の開始時刻、D は 16 回の設定可能です。
- 4 : 入力済の散水開始時刻を減らす場合には削除する開始時
刻に合わせて、時刻を AM12:00 (夜の 12 時) まで、
合わせて下さい。もう一度、- ボタンを押すと液晶表示
が「--:--」となり減らす事が出来ます。



もし、開始時刻が 1 回目 8 時、2 回目 12 時、3 回目 18
時で入力されていて、2 回目を削除してからダイヤルを《自
動運転》に戻した場合は、1 回目 8 時、2 回目 18 時に自
動で変更されます。

同様に、2 回目の開始時刻が 1 回目よりも早い時刻に変更し
てからダイヤルを《自動運転》に戻した場合は開始時刻は自
動で入れ替えられます。(2 回目と 1 回目の順番が変わりま
す)



注意

開始時刻は 1 回入力するだけですべての系統が
順番に行われていきます。1 系統目の散水が完了
すると 2 系統目が自動で始まります。系統毎に分
けたい場合にはプログラム設定を行います。また
追加設定で、散水時間を 5 分ずつで分割制御したり、
ポンプ給水のためなどに系統毎の開始時間を
間隔空けてを設定する事も可能です。

散水時間が重なった場合には、2 系統まで同時に散水する事
が可能です。水圧と水量を考慮した上で行わないと、スプリ
ンクラーなどの機器が正しく機能しません。《拡張設定》で
散水時間の合計を確認出来ます。自動散水の設定を入力する
際には、開始時間、完了時間なども考慮して行って下さい。

・ 散水時間の設定

散水時間 (Run Time) = 水を出す長さの
設定します。別に開始時刻を入力する必要が
あります。1 系統目が終わると 2 系統目が
自動で始まります。

- 1 : ダイヤルを《散水時間の設定》に合わせます。
- 2 : 系統番号とプログラムが表示されます。必要に応じ、
PRG ボタンを押し、B,C,D に合わせて下さい。
- 3 : +/- ボタンで表示されている系統の散水時間を合わせ
て下さい。
- 4 : ▶ ボタンを押すと次系統の設定が出来、◀ ボタンで前
の系統の設定が出来ます。
- 5 : 全て入力したらダイヤルを《自動運転》に戻します。



PRG ボタンを押すと同じ系統の別プログラムを表示する
事が出来ます。

・ 散水時間の設定（つづき）



《散水時間の設定》とは別に《季節散水時間調整》などが設定されている場合には、最下段に実際の散水時間が表示されて 100%ではない値となっている場合があります。



Actual で表示されている散水時間は《季節散水時間調整》がされ、実際に実行される散水時間です。《季節散水時間調整》の詳細は、5ページを参照して下さい。

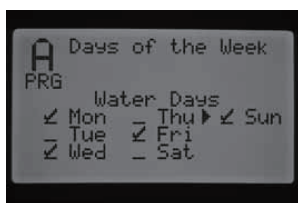
・ 散水日の設定

散水実行日を個別に設定することが可能です。

- 1: ダイヤルを《散水日の設定》に合わせます。
- 2: プログラムと曜日設定画面が表示されます。必要に応じ、**PRG** ボタンを押し、B,C,D に合わせて下さい。
- 3: ・Days of the Week、・Odd Days、・Even Days、
・IntervalDays のいずれかを ◀▶ ボタンで選びます。

Days of the Week：曜日ごとの週間設定

- 1: ダイヤルを《散水日の設定》に合わせます。
- 2: プログラムと曜日設定画面が表示されます。必要に応じ、**PRG** ボタンを押し、B,C,D に合わせて下さい。
- 3: ◀▶ ボタンで一番上の表示を『Days of the Week』にします。
+/- ボタンで ✓ 実行可否の選択を行います。
▲▼ ボタンで曜日を切り変える事が出来ます。



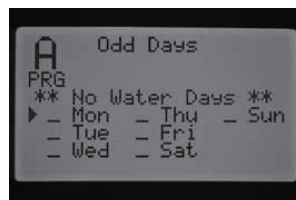
- ✓ のある日が散水実行日です。
 - ▶ のある日が設定中の日です。
- 左図の例では、月、水、金、日に自動散水され、日曜の設定変更が可能です。

- 4: 全て入力したらダイヤルを《自動運転》に戻します。

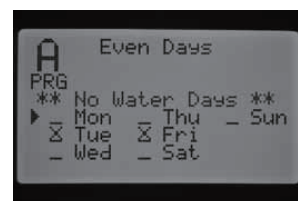
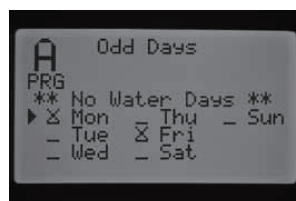
Odd Days (奇数)、Even Days (偶数)：1日おき

Odd Days は毎月の1日、3日、5日～の奇数日、Even Days は毎月の2日、4日の偶数日を指します。

- 1: ダイヤルを《散水日の設定》に合わせます。
- 2: プログラムと曜日設定画面が表示されます。必要に応じ、**PRG** ボタンを押し、B,C,D に合わせて下さい。
- 3: ◀▶ ボタンで一番上の表示を『Odd Days』、『Even Days』のいずれかにします。



- 4: ▲▼ ボタンで曜日を切り変える事が出来ます。
散水を実行しない日に ✕ の表示するようにします。
+ ボタンで ✕ の表示（散水しない日）が設定されて、
- ボタンで ✕ の表示が消えます。
- 5: 全て入力したらダイヤルを《自動運転》に戻します。



Odd、Even の設定時には 31 日とうるう年の 2月 29 日は常に散水実行されない日となります。

Interval Days：特定間隔日

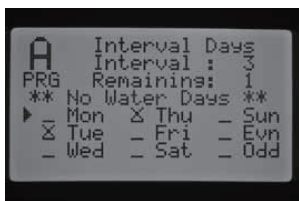
日付や曜日をあまり意識せずに、3日に1回と言った管理を望む場合に便利な設定です。Interval は日にちの間隔で、Remaining は次の散水までの残り日数です。

Interval：3、Remaining：1 は 3日おきで次の散水日まであと 1日の表示で、夜中に日付が変わると 1→0 に変わります。

- 1: ダイヤルを《散水日の設定》に合わせます。
- 2: プログラムと曜日設定画面が表示されます。必要に応じ、**PRG** ボタンを押し、B,C,D に合わせて下さい。
- 3: ◀▶ ボタンで一番上の表示を『Interval Days』に合わせ、+/- ボタンで何日おきか設定します。
- 4: ▼ ボタンを押し、Remaining (残り日数) を必要に応じて、+/- ボタンで残り日数を設定します。

・ 散水日：Interval Days（つづき）

- 5：▲▼ボタンで曜日を切り変える事が出来ます。
 散水を実行しない日に X の表示するようにします。
 +ボタンで X の表示（散水しない日）が設定されて、
 -ボタンで X の表示が消えます。



Xのある日が散水しない日です。

▶のある日が設定中の日です。
 左図の例では、3日おきであと1日で実行日。火、木が散水しない日、月曜の設定変更が可能です。

- 6：全て入力したらダイヤルを《自動運転》に戻します。

・ 季節散水時間調整の設定

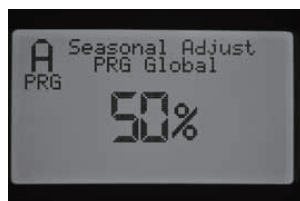
季節散水時間調整（Seasonal Adjust）を設定します。

暑い時期などに設定済みの時間を一律で120%増加すると言った設定を簡単に行う事が出来、A,B,C,Dの各プログラム別に設定する事が可能です。

RPG Global：RPGプログラム別調整



- 1：ダイヤルを《季節散水時間調整》に合わせます。
 2：プログラムと曜日設定画面が表示されます。必要に応じ、
PRG ボタンを押し、B,C,Dに合わせて下さい。
 3：+/-ボタンを押し、上から2行目の表示を『RPG Global』に合わせます。
 4：▼ボタンを押し、『%』が点滅する様にします。
 5：+/-ボタンで増減値を0～300%の間で入力します。
 6：設定後、ダイヤルを《自動運転》に戻します。



By Month：月間別調整

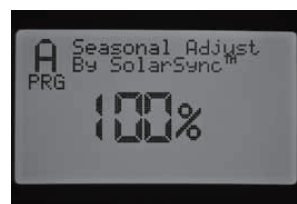


- 1：ダイヤルを《季節散水時間調整》に合わせます。
 2：プログラムと曜日設定画面が表示されます。必要に応じ、
PRG ボタンを押し、B,C,Dに合わせて下さい。
 3：+/-ボタンを押し、上から2行目の表示を「By Month」に合わせます。
 4：▼ボタンを押し、『%』が点滅する様にします。
 5：+/-ボタンで増減値を0～300%の間で入力します。
 6：▲▼ボタンで異なる月に移動します。
 7：全て入力したらダイヤルを《自動運転》に戻します。



By SolarSync：ソーラシンクウェザーセンサー

別売りのソーラシンクウェザーセンサーと連動して、自動で散水時間の調整が可能です。雨と凍結のセンサーを内蔵し、温度、湿度も計測した上で、自動で最適な散水時間調整を行います。



- 1：ダイヤルを《季節散水時間調整》に合わせます。
 2：プログラムと曜日設定画面が表示されます。必要に応じ、
PRG ボタンを押し、B,C,Dに合わせて下さい。
 3：+/-ボタンを押し、上から2行目の表示を「By SolarSync」に合わせます。
 4：ダイヤルを《自動運転》に戻します。

・ポンプ制御設定

マスターバルブの設定をします。電磁弁開放と同時に一次側を開放する弁がマスターバルブです。出荷時にはマスターバルブは「ON」で開放状態になっています。加圧ポンプ等の連動をする場合に ON/OFF を切り替えたり、系統毎の ON/OFF 切替が可能です。

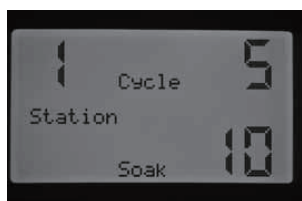


- 1 : ダイヤルを《ポンプ制御設定》に合わせます。
- 2 : ◀▶ ボタンを押すと系統を変更出来ます。
- 3 : +/− ボタンで ON/OFF 切り替えします。
- 4 : ダイヤルを《自動運転》に戻して完了です。

・散水時間分割の設定

散水時間分割 (Cycle&Soak) を設定します。系統毎の散水時間を短く分割して行えます、水が浸透しにくい土壌や斜面などに有効です。

例：散水が20分必要な土壌がある。しかし、5分程度で水たまりが出来てしまうが、10分で浸透する。このような場合には系統の散水時間：20分とし、散水時間分割の設定で Cycle:5分、Soak:10分にすると解決します。



左図の例では、系統1の分割散水時間：5分で、間隔を10分あける設定になります。

- 1 : ダイヤルを《散水時間分割設定》に合わせます。
- 2 : ◀▶ ボタンを押すと系統を変更出来ます。
- 3 : +/− ボタンで『Cycle：分割時間』を入力します。
Cycle は最大60分まで設定可能です。
- 4 : ▼ ボタンを押すと『Soak：浸透時間』の設定変更が出来ます。Soak は最大120分まで設定可能です。
- 5 : 全ての入力完了したら、《自動運転》にダイヤルを戻して下さい。

補足：散水時間分割設定を入力している場合であっても、系統の順番に散水は実行され、最後の系統まで1順してから、再び系統1の分割した散水を始めるようになります。

・センサー設定

I-CORE コントローラーは2つ以上のセンサーを接続することが出来、系統毎に割り当てる事が可能です。樹脂ボックスは2個、ステンボックスは3個で、離れた位置にある同じセンサーの制御や流量センサーを組み合わせた異なるセンサーの組み合わせも可能です。2つ以上のセンサーを接続した場合には、《センサー設定》にダイヤルを合わせると、それぞれの系統毎にセンサーの作動 / 解除を設定する画面になります。

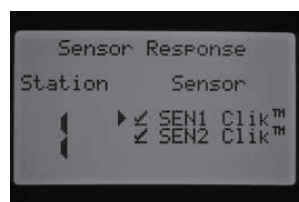


注意

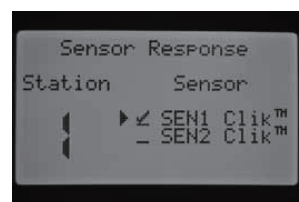
ソーラーシンクウェザーセンサーを接続した場合は、レインセンサー、フリーズセンサーと同様に『Click』で表示されます。ソーラーシンクウェザーセンサーにはレインセンサー、フリーズセンサーが内蔵されており、センサー作動時にはどちらのセンサーが機能しているか表示されます。

センサーを2個接続している場合 (流量センサーではないタイプ)

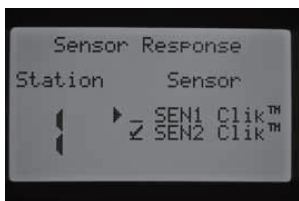
✓ の表示がある場合が『センサー作動』の状態です。



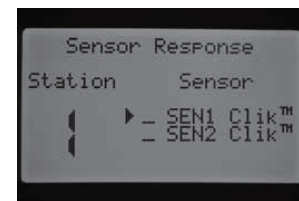
2個のセンサーが両方とも1系統の制御に使用



センサー1だけが1系統の制御に使用



センサー2だけが1系統の制御に使用



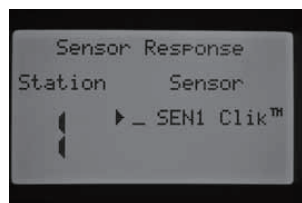
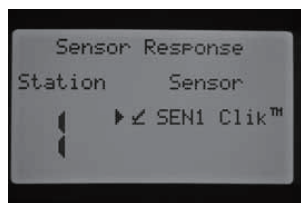
2個のセンサーが両方とも1系統の制御をしない設定

・センサー設定（つづき）

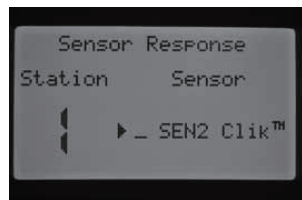
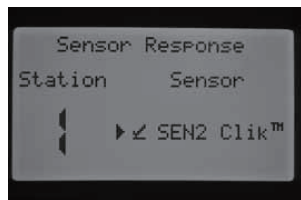
- 1：ダイヤルを《センサー設定》に合わせます。
◀▶ ボタンで設定する系統を変更出来ます。
- 2：出荷時にはセンサー作動になっていて ✓ が表示しています。▲▼ ボタンを押すとセンサーを切り替えます。
- 3：+ボタンでセンサー作動、-ボタンでセンサー解除になります。
- 4：全ての入力が完了したら、《自動運転》にダイヤルを戻して下さい。

流量センサーとそれ以外の Click センサーを取り付けした場合には、Click センサーしか液晶には表示されません。センサー端子に接続した番号が液晶に表示され、変更の際は、端子を入れ替えるしかありません。流量センサーの設定は《拡張設定》から行って下さい。

片方に流量センサーを接続している場合

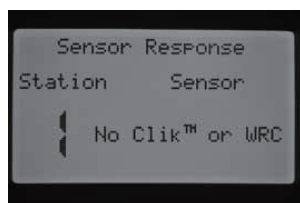


センサー 2 端子に流量センサーが接続している



センサー 1 端子に流量センサーが接続している

流量センサーを2つ接続している場合



センサーを接続して、各設定が完了すると直ちに I-CORE 本体にセンサーの状態が反映されます。レインセンサーが正しく接続され、晴天時には液晶左側のシステム状態通知のランプは緑色に点灯します。雨天でセンサーが機能している場合には赤色が点灯します。

システム状態通知

センサー ○ ● 散水待機
● 散水休止

電磁弁 ○ ● 正常
● エラー発生

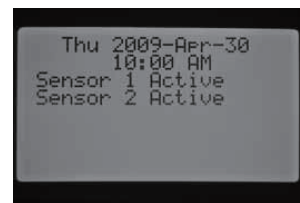
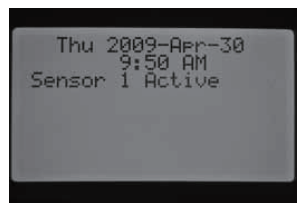
流量 ○ ● 正常
● エラー発生



注意

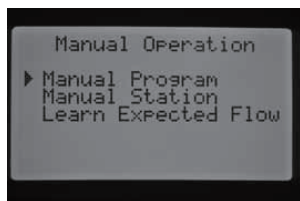
センサー ON/OFF スイッチは通常は必ず作動の状態にして下さい。解除にするとセンサーが機能しません。

センサー作動中に散水休止となる場合には、液晶画面にはどのセンサーが作動中か表示されます。



・手動散水 系統別

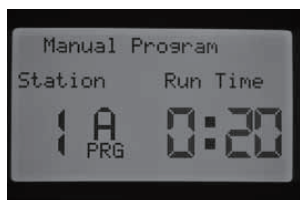
設定済みの時間とは別に手動散水を行う事が出来ます。



- 1 : ダイヤルを《手動散水 系統別》に合わせます。
- 2 : ▲▼ボタンを押すと項目を変更出来ます。
- 3 : +ボタンを押すと各設定を行う事が出来ます。

Manual Program : 全系統手動散水

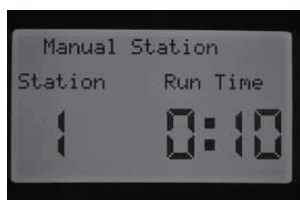
設定済みの散水時間を系統順に散水します。系統を特定すれば以降の系統を順番に散水します。散水時間分割をなどの追加設定をしている場合は入力内容通りに行われます。



- 1 : ダイヤルを《手動散水 系統別》に合わせます。
- 2 : ▶カーソルが『ManualProgram』を選択しているのを確認して、+ボタンを押します。
- 3 : PRG ボタンを押し、A,B,C,Dを選択して下さい。
- 4 : +/−ボタンで時間の増減、◀▶ボタンで系統を変更する事が出来ます。
- 5 : ダイヤルを《自動運転》に戻すと散水が開始されます。系統1に戻さないと途中の系統から散水を始めます。
- 6 : ▶ボタンを押すと次の系統にスキップ出来ます。
- 7 : 入力されている時間が完了すると元に戻ります。

Manual Station : 1 系統手動散水

選択した1系統だけを散水します。



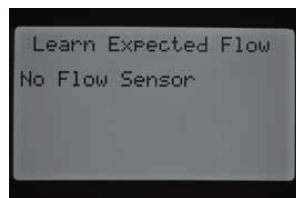
- 1 : ダイヤルを《手動散水 系統別》に合わせます。
- 2 : ▲▼ボタンで『ManualStation』を選択し、+ボタンを押します。
- 3 : +/−ボタンで時間の増減、◀▶ボタンで系統を変更する事が出来ます。
- 4 : ダイヤルを《自動運転》に戻すと散水が開始されます。
- 5 : 入力されている時間が完了すると元に戻ります。

Learn Expected Flow : 流量計測

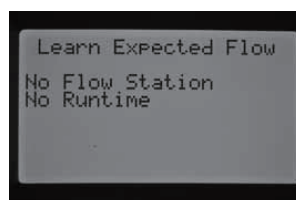
系統毎の流量などを計測する事が出来ます。(流量センサーの接続が必要です)

使用する前に各種設定が必要です。

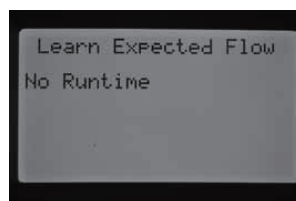
- 1 : 《拡張設定》で『SensorConfigure』を設定する。
- 2 : 《拡張設定》で『Flow Operation』の設定をする。
- 3 : 《散水時間》を含め、自動運転可能な設定を入力する。



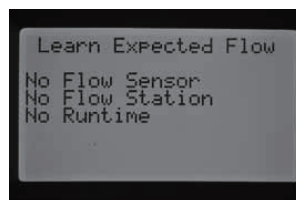
《拡張設定》の『SensorConfigure』で流量センサーの設定をしていないと「No Flow Sensor」が表示されます。



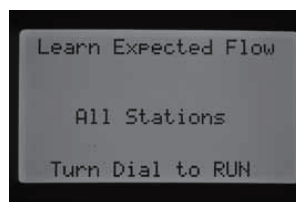
《拡張設定》の『FlowOperation』で流量計測：Monitored=Yesの設定をしていないと「No Flow Station」「No Run Time」が表示されます。



自動散水の設定が完了していないと「No Run Time」が表示されます。



3つともなされていない場合には、上記のエラー画面が表示されます。



すべて正しく設定されている場合、上記の画面表示となります。

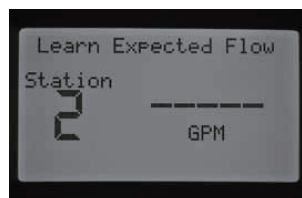
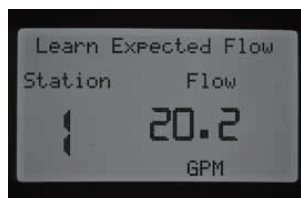
• Learn Expected Flow (つづき)

事前の設定がすべて完了したら、ダイヤルを《自動運転》にして下さい。流量計測が始まり、計測用の散水が順に行われていきます。各系統で約1分程度の時間を要します。

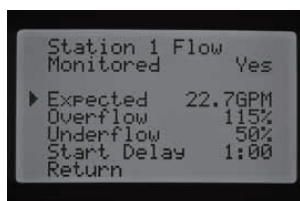


注意

『Learn Expected Flow：流量計測』をしている間はテスト用に水が出ます。



◀▶ ボタンでシステムをスキップする事も出来ます。その後はダイヤルを《自動運転》にして下さい。完了すると現在時刻に戻ります。



完了後は計測結果を確認する事が出来ます。

スプリンクラーヘッドの増減やノズルの変更などをした際には、もう一度同じ手順で、水量計測を行って下さい。



注意

GPMはガロン毎分です、LPMリッター毎分にするには《拡張設定》の『Set Units：単位設定』で行って下さい。

• 散水停止

設定を残したまま散水を停止出来ます。

1：ダイヤルを《散水停止》に合わせます。

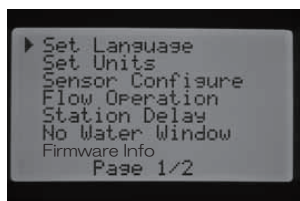
- 元に戻す場合は《自動運転》にするだけです。
- 自動散水中、手動散水中の停止の場合も《散水停止》にダイヤルを合わせて下さい。



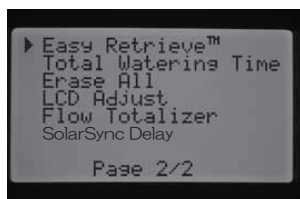
• 拡張設定

拡張設定を行う事が出来ます。

- 1 : ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2 : ▲▼ ボタンを押すとカーソルが移動します。
- 3 : +ボタンを押すと各メニューの設定が出来ます。
- 4 : ◀ボタンを押すと戻ります。

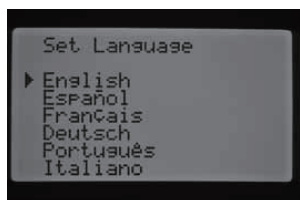


- Set Language : 言語設定
- Set Units : 単位設定
- Sensor Configure : センサー形状
- Flow Operation : 流量計測設定
- Station Delay : 系統散水間隔
- No Water Window : 散水禁止時間
- Firmware Info : 製品情報



- Easy Retrieve : 設定保存
- TotalWateringTime: 散水時間合計
- Erase All : 設定消去
- LCD Adjust : 液晶画面調整
- Flow Totalizer : 流量検査
- SolarSync Delay : ソーラーシンクデレイ

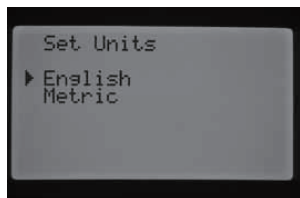
Set Language : 言語設定



注意
 日本語は対応していません。

- 1 : ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2 : ▲▼ ボタンで『Set language : 言語設定』を選択し、+ボタンを押します。
- 3 : ▲▼ ボタンで言語選択をして、+ボタンを押すと更新されます。
- 4 : ダイヤルを《自動運転》に戻します。

Set Units : 単位設定



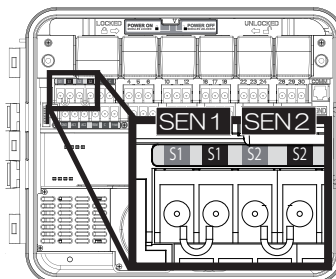
English→GALLON : ガロン
Metric→LITTER : リットル

- 1 : ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2 : ▲▼ ボタンで『Set Units : 単位設定』を選択し、+ボタンを押します。
- 3 : ▲▼ ボタンで単位選択をして、+ボタンを押すと更新されます。
- 4 : ダイヤルを《自動運転》に戻します。

Sensor Configure : センサー形状



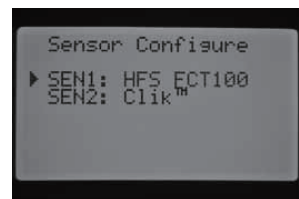
流量センサーを取り付けした場合には必ず行って下さい。初期設定はすべて『Click』です。



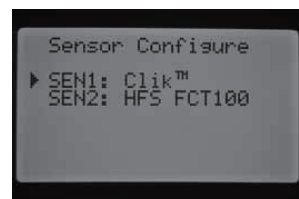
S1 (=SEN1)、S2 (=SEN2) 端子に接続したセンサーの種類を設定します。

- 1 : ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2 : ▲▼ ボタンで『Sensor Configure : センサー形状』を選択し、+ボタンを押します。
- 3 : ▲▼ ボタンでセンサー端子部を選択して、+/-ボタンでセンサーを選択します。(下記参照)
- 4 : ダイヤルを《自動運転》に戻します。

液晶表示	対応品
Click	ソーラーシンクウェザー / レイン / フリーズ
HFS FCT100	流量センサー 25A : C10SW325
HFS FCT150	-
HFS FCT158	流量センサー 40A : C10SW340
HFS FCT200	-
HFS FCT208	流量センサー 50A : C10SW350
HFS FCT300	-
HFS FCT308	流量センサー 75A : C10SW375
HFS FCT400	-
Custom1	-
Custom2	-
Custom3	-



SEN1 : 流量センサー 25A
SEN2 : Click タイプ

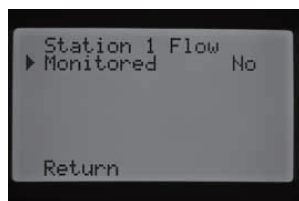


SEN1 : Click タイプ
SEN2 : 流量センサー 25A

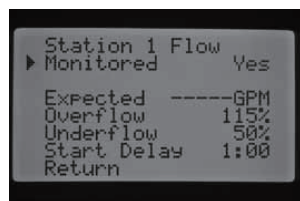
・拡張設定（つづき）

Flow Operation：流量計測設定

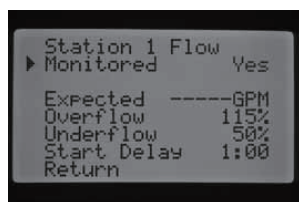
- 1：ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2：▲▼ ボタンで『Flow Operation：流量計測設定』を選択し、+ボタンを押します。
- 3：◀▶ ボタンで計測するシステムを選択し、+/-ボタンを押して、「Yes」にします。（必要のあるシステムすべて）
- 4：▲▼ ボタンで設定したい項目を選んで+/-ボタンで数値を変更します。
- 5：設定したいシステムの入力をすべて行います。（下記参照）
- 6：ダイヤルを《自動運転》に戻します。



- No の場合
1 系統の流量計測をしない



- Yes の場合
1 系統の流量計測をする



• Expected：予想流量

システムで予想される毎分の流量
※GPM（ガロン/分）、LPM（リッター/分）切替は《拡張設定》の「SetUnits」で行って下さい。

• Overflow：流量過多範囲

予想流量の110～300%までの範囲で許容値を決めます。
※流量予想が100LPMの時に150%の設定をした場合には150LPMまでは許容値として判定され、超えた場合には流量過多として、自動散水を停止し、システム状態通知ランプの流量にエラー判定として、赤色の点灯をします。

• Underflow：流量過少範囲

予想流量の10～100%までの範囲で許容値を決めます。
※流量予想が100LPMの時に50%の設定をした場合には50LPMまでは許容値として判定され、少ない場合には流量過少として、自動散水を停止し、システム状態通知ランプの流量にエラー判定として、赤色の点灯をします。

• Start Delay：流量判定時間

「Overflow：流量過多範囲」、「Underflow：流量過少範囲」の判定までの時間を5秒～10分の間で設定します。
本管からセンサーまで水が流れる時間の時間差（タイムラグ）が生じる場合に設定を行います。

Station Delay：系統散水間隔

システムが変わる際の間隔を任意に設定します。
貯水槽から給水する時間を稼ぐ必要がある場合などの時に有益な設定です。
1秒から9時間まで設定可能です。

- 1：ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2：▲▼ ボタンで『Station Delay：系統散水間隔』を選択し、+ボタンを押します。
- 3：PRG ボタンで設定するプログラムをA,B,C,Dから選び、+/-ボタンでシステム毎の間隔を設定します。（必要のあるシステムすべて）
- 4：ダイヤルを《自動運転》に戻します。
もしくは◀ ボタンで戻ります。

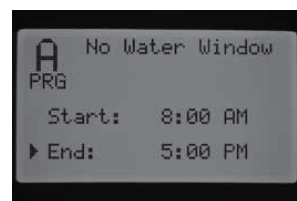


左図はプログラムAで各間隔を2分にした場合の表示です。

No Water Window：散水禁止時間

期間内の散水を一切禁止する設定です。
設定は15分刻みです。

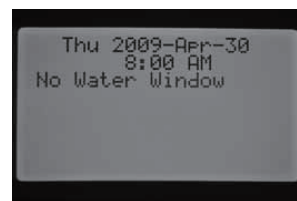
- 1：ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2：▲▼ ボタンで『No Water Window：散水禁止時間』を選択し、+ボタンを押します。
- 3：PRG ボタンで設定するプログラムをA,B,C,Dから選び、+/-ボタンで時刻を、▲▼ボタンで開始:Start 終了:Endの項目変更をします。
- 4：ダイヤルを《自動運転》に戻します。
もしくは◀ ボタンで戻ります。



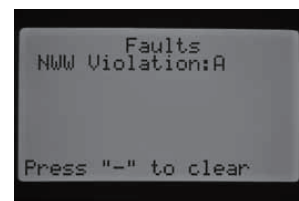
上図はプログラムAで午前8時から午後5時まで散水禁止時間設定の表示です。



上図はプログラムAで20分散水する設定が入力されているが現在散水禁止時間の為、散水を休止している表示です。



上図は現在、散水禁止時間中である表示です。



上図はプログラムAで散水禁止時間内に自動散水の設定が入力されていた事を知らせる表示です。

・拡張設定（つづき）

Firmware Info：製品情報

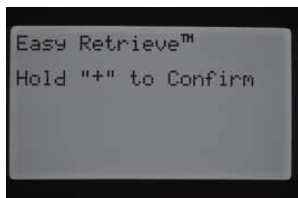
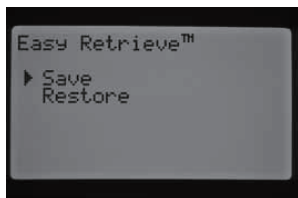
商品情報を表示します。



Easy Retrieve：設定保存

設定内容の保存を行う事が出来ます。
設定変更する前のバックアップとして、
お使い下さい。

- 1：ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2：▲▼ ボタンで『Easy Retrieve：設定保存』を選択し、+ボタンを押します。
- 3：▲▼ ボタンで「Save：保存」か「Restore：読込」のどちらかを選択し、+ボタンを押します。
- 4：液晶表示の変更後に、再度+ボタンを押し続けます。
- 5：液晶表示が「Please Waait・・・」から「Done」になれば完了です。
- 6：ダイヤルを《自動運転》に戻します。



TotalWateringTime: 散水時間合計

開始時間1回分での散水時間の合計を各プログラム毎に表示します。

- 1：ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2：▲▼ ボタンで『TotalWateringTime: 散水時間合計』を選択し、+ボタンを押します。
- 3：PRG ボタンを押して他のプログラムも確認します。
- 4：◀ ボタンを押すか、ダイヤルを《自動運転》に戻します。

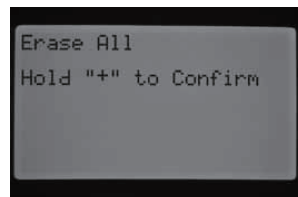


- ・1プログラムの表示なので、A,B,C,D すべて確認して下さい。
- ・表示されるのは開始時間1回あたりの散水時間の合計です。
1日の合計ではありません。また、散水時間分割や、系統散水間隔を設定の開始～完了までの時間ではありません。

Erase All：設定消去

設定をすべて消去して、初期状態に戻します。
『Easy Retrieve：設定保存』の内容も消去されます。

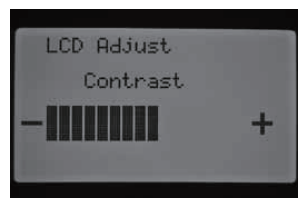
- 1：ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2：▲▼ ボタンで『Erase All：設定消去』を選択し、+ボタンを押します。
- 3：液晶表示の変更後に、再度+ボタンを押し続けます。
- 4：液晶表示が「Please Waait・・・」から「Done」になれば完了です。
- 5：ダイヤルを《自動運転》に戻します。



LCD Adjust：液晶画面調整

液晶濃度を調整します。

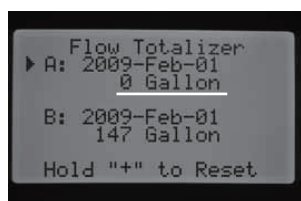
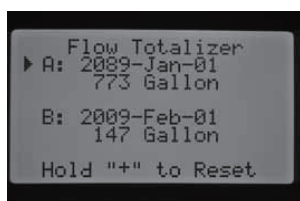
- 1：ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2：▲▼ ボタンで『LCD Adjust：液晶画面調整』を選択し、+ボタンを押します。
- 3：+/- ボタンを押し、好みの濃度にします。
- 4：◀ ボタンを押すか、ダイヤルを《自動運転》に戻します。



Flow Totalizer : 流量検査

流量センサーを設置している場合に期間中の流量の累計を表示します。自動散水だけでなく手動散水の時間や漏水時などセンサーを通過した流量すべてが表示されます。

- 1 : ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2 : ▲▼ ボタンで『Flow Totalizer : 流量検査』を選択し、+ボタンを押します。
- 3 : ▲▼ ボタンで「A」か「B」のどちらかを選択し、+ボタンを押し続けます。日付がリセットされ以降の流量の累計が表示されるようになります。
- 4 : ダイヤルを《自動運転》に戻します。



SolarSync Delay : ソーラーシンクデレイ

ソーラーシンクウェザーセンサーを設置している場合に任意の期間中散水を休止する時に使用します。種を撒いた直後などに便利な機能です。

- 1 : ダイヤルを《拡張設定》に合わせます。
- 2 : ▲▼ ボタンで『SolarSync Delay : ソーラーシンクデレイ』を選択し、+ボタンを押します。
- 3 : ▲▼ ボタンで「日付」か「%」のどちらかを選択し、+/-ボタンでそれぞれを入力します。
- 4 : ダイヤルを《自動運転》に戻します。



ソーラーシンクウェザーセンサーの詳細は、専用の取扱説明書をご参照下さい。

注意

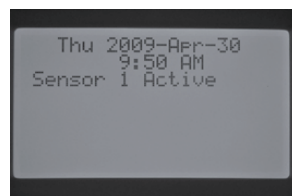
・ 接続診断クイックチェック

電磁弁接続などに不具合が無いか診断します。

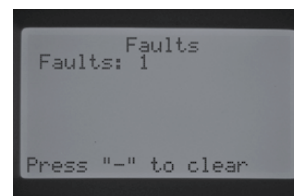


- 1 : ダイヤルを《自動散水》に合わせます。
- 2 : ◀▶ ボタン、+/- ボタンを4つ全て2,3秒押し続けます。
- 3 : 画面に「1」が表示されたら+ボタンを押します。
- 4 : 「20」が表示した後に1系統から順に自己診断を開始します。
- 5 : 異常があれば『Fault』の表示が出ます。

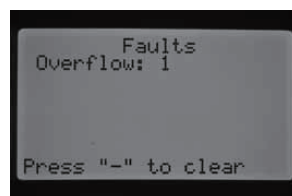
液晶表示の説明



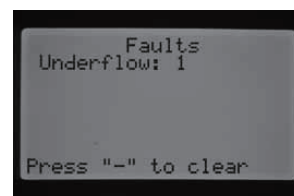
センサー作動中のため、散水休止



系統1に異常あり
点検箇所
ケーブル、ソレノイド



流量過多
流量センサー接続時



流量過少
流量センサー接続時

よくあるQ&A

症状	原因	解決
液晶が表示しない もしくは 「No A/C Power」の 液晶表表示をしている	<ul style="list-style-type: none"> 電源供給されていない 操作パネル裏のリボンケーブルが外れている スライドロックバーが「Power Off」になっている 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を確認して下さい リボンケーブルを接続 スライドロックバーが「Power On」にする
「Faults」の 液晶表表示をしている	<ul style="list-style-type: none"> 「Overflow」「Underflow」を表示している 「Faults ※」(※は数字)を表示している 	<ul style="list-style-type: none"> 漏水、湯水の可能性があります確認 表示している数字の系統のケーブル接続などを確認
「Sensor -- Active」の 液晶表表示をしている	<ul style="list-style-type: none"> センサー作動中で自動散水をしません 	<ul style="list-style-type: none"> センサーを必要に応じて解除
センサーが正しく機能しない	<ul style="list-style-type: none"> センサーの接続、もしくは設定が正しくされていない 	<ul style="list-style-type: none"> 端子のジャンプ線を確認 センサー設定を確認
散水しない系統がある	<ul style="list-style-type: none"> 接続、ケーブルなどに異常がある 	システム状態ランプ <ul style="list-style-type: none"> 赤→接続を確認 緑→設定を確認
自動散水されない 設定時間外に自動散水している	<ul style="list-style-type: none"> センサー作動している 日付が正しくない 設定が正しくない 	<ul style="list-style-type: none"> センサー作動を確認 日付を再設定 各設定を確認
設定時間と散水時間が異なる (長い、もしくは短い)	<ul style="list-style-type: none"> 設定が正しくない 散水時間調整されている 	<ul style="list-style-type: none"> 設定を確認 散水時間調整を変更する
鍵を紛失した		<ul style="list-style-type: none"> 予備の鍵を別売で用意しています

その他不明な点などございましたら、当社までお問合せ下さい。

